



Our Work ケア・インターナショナル ジャパンの活動

ケア・インターナショナル ジャパンは、世界 90ヶ国以上で人道支援活動を行う国際 NGO ケア・インターナショナルの一員です。災害時の緊急・復興支援や「女性と女子」の自立支援を通して、貧困のない社会を目指しています。特に「女子教育」「女性の経済的エンパワメント」「母子保健」の分野に注力し、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

活動理念

Vision ビジョン

CARE は、貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、寛容で公正な世界を目指します。

Mission ミッション

CARE は、人々の命を守り、貧困をなくし、公正な社会を創ることを使命とし、世界中でその実現に向けて取り組みます。

Focus フォーカス

CARE は、女性と女子を活動の中心にすえます。貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が平等な権利や機会を得る必要があるからです。

- ケア・フレンズ岡山
(1992年設立/中島美子会長)
- ケア・フレンズ東京
(1998年設立/安倍洋子会長)
- ケア・サポーターズクラブ大分
(2005年設立/広瀬堯子会長)
- ケア・サポーターズクラブ熊本
(2006年設立/森義臣会長)
- ケア・フレンズ長野
(2009年設立/塚田稲子会長)
- ケア・パートナーズ金沢
(2012年設立/八重澤 美知子会長)
- ケア・サポーターズクラブ千葉
(2013年/土屋津以子会長)
- ケア・サポーターズクラブ佐賀
(2016年設立/中川原三和子会長)

変える、女性も女子も活躍する豊かな世界に

ケア・インターナショナル ジャパンは、貧困の根源の解決に向け、災害時の人道支援を行うとともに、「女性と女子」に焦点をあてた活動を通して、最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

ケア・サポーターズクラブ佐賀へのご入会お待ちしております

■入会のご案内

1. 正会員個人 年間 12,000円 (月 1,000円)
2. 法人会員 年間 30,000円 (1口)

■口座番号

ケア・サポーターズクラブ佐賀
ゆうちょ銀行振替口座
01740-5-145473

入会のお申し込み、お問い合わせは下記事務局まで

ケア・サポーターズクラブ佐賀

〒841-0056 鳥栖市蔵上2丁目210番 (医療法人 まごころ医療館内)

tel 0942-87-5002 (代) fax 0942-87-5004



2017年6月10日発行 vol.1

Supporters Club SAGA 通信

発行：ケア・サポーターズクラブ佐賀

事務局/〒841-0056 鳥栖市蔵上2丁目210番 (医療法人 まごころ医療館内) tel 0942-87-5002 (代) fax 0942-87-5004

ケア・サポーターズクラブ佐賀のあゆみ

- 平成 28 年 7 月 19 日 (火)
於ホテルニューオータニ佐賀、役員候補者 6 名
初顔合わせ
- 平成 28 年 8 月 21 日 (日) ケア本部との協議
ケア・インターナショナルジャパン事務局長
武田勝彦氏 来佐 佐賀クラブ設立準備に関し
打合(木下、齊藤、内田、中川原 2、田口)
- 平成 28 年 9 月 3 日 (土) 東京(中川原夫妻)
ケア・インターナショナルジャパン名誉会長 柳井俊二様ご夫妻
ケア・インターナショナルジャパン理事長 目賀田周一郎様ご夫妻
佐賀クラブ設立に関して、ご指導を頂く
- 平成 28 年 9 月 13 日 (火)
中川原ケア・サポーターズクラブ熊本会長 森義臣会長に面会
入会案内パンフレット作成等事務的な準備に関して指導頂く
- 平成 28 年 9 月 15 日 (木)
ケア・フレンズ東京定例会出席 (中川原)
佐賀クラブ設立と設立記念総会の案内とご支援お願い
- 平成 28 年 10 月 5 日 (水)
ケア・インターナショナルジャパン理事長名で、
ケア・サポーターズクラブ佐賀の設立許可書を受理
- 平成 28 年 10 月 16 日 (日) 中川原・齊藤・赤石
ケア・サポーターズクラブ熊本、小山薫堂氏講演会、
交流会参加 全国支援組織の方々に挨拶
- 平成 28 年 11 月 27 日 (日)
設立総会 設立記念講演会 於ニューオータニ佐賀
- 平成 29 年 1 月 21 日 (土) 役員会
- 平成 29 年 2 月 17 日 (金)・18 日 (土)
ケア・フレンズ岡山 東儀秀樹コンサート他
中川原・安永 出席
- 平成 29 年 3 月 10 日 (金)
東京 中村獅童講演会 中川原・田口 出席
- 平成 29 年 3 月 26 日 (日) 役員会
- 平成 29 年 4 月 6 日 (木)
全国支援組織代表者会議(東京) 中川原・齊藤 出席
- 平成 29 年 4 月 23 日 (日)
役員会、総会他 次年度活動について協議
- 平成 29 年 6 月 4 日 (日)
役員会、総会他 次年度活動について協議



ご挨拶

ケア・サポーターズクラブ佐賀
会長 中川原 三和子



盛夏の候、皆様におかれましては、お健やかに、ますますご活躍の事とお慶び申し上げます。

ケア・サポーターズクラブ佐賀は、関係各位ならびに会員の皆様のご支援により、昨年10月5日に設立認可を受け、11月27日に設立記念総会ならびに記念行事を行いました。本部組織である公益財団法人ケア・インターナショナルジャパンからは、目賀田周一郎理事長のご臨席を賜り、また、全国7か所の支援組織からも、安倍洋子会長(ケア・フレンズ東京)はじめ、30名近いご参加と、地元佐賀からは、佐賀県知事をはじめとして、国会議員の先生方、多くの会員のご出席を頂戴して、大変充実した船出をすることができました。この場を借りて、篤くお礼申し上げます。

CARE (Cooperative for Assistance and Relief Everywhere) は、世界で最も弱い立場にある、「貧困に苦しむ女性や女子の自立支援」をその活動の軸に置き、世界94か国で活動を展開している国際協力NGOです。その日本支部が、1987年横浜にケア・インターナショナルジャパンとして発足しました。この日本のCAREを支援する組織として、岡山、東京、長野、大分、熊本、金沢、千葉に各クラブがあり、今回佐賀が8番目の支援組織として加わったことになります。

ケア・インターナショナルジャパンは、これまでタイやカンボジアで女子教育を中心に活動し、平成26年7月からは、オーストラリアの北に位置する「東ティモール民主共和国」の人々の自立支援を続けています。この東ティモールは、500年近くポルトガルなどの諸外国の支配下にあり、第2次世界大戦中の4年間は日本の支配下にありました。岩手県程の面積で、人口125万人、国民の42%が15歳以下の子供たちという大変若い国です。長く続いた外国支配の影響で産業が育っておらず、国民の41%が、一日1,25ドル以下で生活する貧困層です。ケア・インターナショナルジャパンは、外務省からの支援も受けて、東ティモールで教育支援と農業支援の二つの事業を行っています。

CAREは、第二次大戦後、戦争で疲弊した日本各地に、心のこもった物資(ケアパッケージ)を届けてくださった団体と聞いています。今から思えば決しておいしくはなかったけれど、ケアからの支援物資の一つである脱脂粉乳は、貴重な栄養源として子供時代の私たちを支えてくれました。今度は、世界の貧困に苦しむ方々のために、CAREの一員としてできることをいたしましょう!!

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

設立総会のご報告



顧問
指山 弘 養

爽やかな風を感じる時も過ぎ去ろうとしています。

ケア・インターナショナルジャパンの佐賀支部も間もなく一年を迎えようとしています。欲望の資本主義と呼ばれ、物質的価値のみが重んじられる現代、種々矛盾が表面化しています。こうした時に、女性子供に焦点をあて貧困の解決・災害への人道支援等の活動を通して困難な状況にある人々の自立支援を行う団体があることは、世に一つの明りを灯すものです。合田さんは「種さえまいてあげれば必ず芽が出る、よい種にはよい芽が…」と言われています。ケア・サポーターズクラブ佐賀でも、同じ想いを全員共有しながらよい種の一つでも多く蒔いていけるようにしたいものです。

ケア・サポーターズクラブ佐賀 設立記念講演会 「激動の東アジアと日本の平和」の報告

平成28年11月27日、ケア・インターナショナルジャパンの名誉会長である柳井俊二氏による記念講演会が開催されました。

柳井氏は、外交官としてご活躍なさった後、数々の要職を歴任なさいましたが、現在は国際海洋法裁判所所長を務められています。柳井氏は、佐賀県の特別顧問に就任なさったご経歴もあり、佐賀とも縁のある方です。冒頭、柳井氏は、佐賀県の地理的条件に鑑みて、佐賀県は東アジアの中心に位置する重要な場所であると指摘されました。そして、近隣諸国の軍事力や中国の海洋進出について最新の知見をご披露頂き、これまでの豊富なご経験と現在の職務に裏打ちされた、日本の安全・平和に対する提言をなさいました。また、折しもアメリカ大統領選の直後でしたので、日米関係にも触れながら、今後、日本がどのような外交政策を行うべきかについても示唆して頂きました。

これからケア・サポーターズクラブ佐賀が、貧困対策と女性支援を目的として活動していくために、国際情勢を理解することは意義の大きなことだと認識致しました。

ケア・サポーターズクラブ 副会長 安 永 恵 子



設立総会

(於) ホテルニューオータニ佐賀 平成28年11月27日(日)



設立許可証を日賀田理事長から受けとる
ケア・サポーターズクラブ佐賀中川原代表



全国からご出席頂いた役員の皆様



安倍会長！ありがとうございました♡

役員からのご挨拶



副会長 安 永 恵 子

このたび当会副会長を拝命しました安永恵子です。至らぬ点もございますが、何卒宜しくお願い申し上げます。ケア・サポーターズクラブ佐賀は、昨年11月に設立総会を行い、皆様のご承認を頂きまして首途に立つことができました。佐賀では「ケアってどんな活動をしているの？」と疑問をお持ちの方が多くいるかと存じます。まずは会員の皆様にケアの活動を理解して頂くための努力をして参りたいと考えております。

ケア・インターナショナルジャパンは、貧困の根絶を目的とし、主にアフリカやアジアを中心に、災害時の人道派遣や、女性や女子に対する自立支援を行っています。女性や女子が支援の対象となるのは、世界中で1日1ドル以下で生活している人達の約70パーセントが女性、女子であるという事実があるためです。貧困状態から抜け出すためには教育を受けて自ら働く力を育むことが必要です。このような目的、活動内容をご理解頂き、継続的なご支援をお願い申し上げます。



理事 木下 晴 美

会員の皆様、ケア・サポーターズクラブ佐賀の理事をさせていただいております木下です。

今まで、医師として毎日を仕事に追われ、医師としての視点からの社会参加が主なもので、息を切らしながら走ってまいりました。それでも、ここまでたどり着けたのは家族をはじめ周りの多くの方々の支援があったからだ、「夫との別れ」を期に改めて気づきました。

そして又、「古希」を迎える直前になり、この会の設立のお話を聞き世界が広がった思いでございました。今までとは異なり多くの方々と輪を広げることができ、いろいろな分野のお話を聞くことができました。また、世界の貧困と差別に苦しむ人々の存在がより身近に感じられ、地元佐賀の立地がいかなるものか、その中での支援はどうあるべきかを、初めて医師としてだけでなく考えることができました。ここに、多く集まっていた会員のみなさまに心からお礼申し上げます。

これからも、一緒にいろいろなことをやっていきたいと思います。

どうぞ、お力添えを宜しくお願いいたします。



理事 田口 香 津 子

昭和58年でした。23歳で初めて佐賀駅に降り立った時、すぐ目の前が田圃でした。宮崎よりもずいぶん田舎だなあと正直思いました。佐賀女子短期大学の助手としての面接を受けるためでした。内心、三年くらい働いたら十分だなと思っていました。

人生は予定通りにはいきません。就職後間もなく、学生時代の恋人から別れを告げられ、佐賀の男性と出会い、今に至ります。仕事に生きがいを見出し、佐賀に愛着を感じ、女性と子どもの幸せにつながる活動がしたいと、細々ながら続けてきました。「三丁目の夕日」がまさに子ども時代でしたが、貧乏な中に希望がありました。今の時代より不幸せだったようには感じません。孤立無援ではなかったからです。この、ケアインターナショナルジャパンの活動を通して、素晴らしい方々との出逢いを頂いています。新しい経験を糧に、私にできることを少しずつさせて頂きます。よろしくお願いいたします。



理事 赤石 智 恵 子

早いもので、やがて1年になろうとしております。中川原理事長にお声がけいただきまして、ケア・サポーターズクラブの設立と目的をお伺いいたしました。諸外国の子供の貧困の支援と共に、佐賀県の女性（シングルマザー）や子供の貧困においても深刻な問題だと認識いたしました。貧困対策として佐賀県においてもさまざまな取り組みがなされております。「生活自立支援センター」や「子ども食堂」としての支援もそのひとつです。子どもが将来に希望を持ち安心して生きて行ける社会にすることはできないでしょうか。その一助としてケア・サポーターズクラブ佐賀が活動していく事だと考えております。私は長年障がい者の皆さんと雇用や訓練として共に歩いて参りました。その間就労についての諸問題はもちろんですが、生活においても家族と共に考え行政や地域の人の支援を得て解決してまいりました。そのようなことがお役に立てればと思っております。しかし、何事も会員のみなさまのご協力なしでは成り立ちません。どうぞこれからもご支援頂きますようよろしくお願いいたします。



事務局 長 齊 藤 美 代 子

今、思い起こせば中川原会長との出会いから約4か月足らずの時間で、11月27日の素晴らしい『設立総会』を迎えることが出来ました！！之もひとえに役員の皆様の最速のフットワークとそれぞれのネットワークをフル活動していただき、当日を迎えられましたことは何にも代えがたい、財産だと感謝しております。現在事務局長を拝命しておりますが、全国の支部の皆様のお働きを学ぶとき、大丈夫かな〜と不安にもなりますが、中川原会長の情熱の後押しは私たちがやらねば…の信念のもと全員笑いの絶えない役員会を開かせていただいております。人は何歳になっても学び、行動できることを改めて感じ、「東アジア」を中心に、まだまだ「貧困」に苦しむ女性や子女の自立に向けて微力ながら支援の輪を広げてまいります！又地域にも目を向けるとき、今まで、知りえなかった貧困・子育て・女性支援の必要性も見えてまいります。これから改めて取り組むテーマも見えてきました！

最後になりましたが、安倍会長様はじめ加藤副会長様他役員様のパワーを頂き、邁進して参ります。どうぞ、多面にわたりご指導・ご支援をお願い申し上げます。1年を迎えるに当たり、感謝の言葉しかありません。有難うございました。



監 事 齊 藤 智 恵

この度、ケア・サポーターズクラブ佐賀の設立にあたり、初期メンバーの一員となれました事を大変光栄に思っております。私は、この佐賀県で生まれ育ち、佐賀県のいいところをたくさん知っています。美味しい米と水、お茶に海苔、佐賀牛等の農産物、海産物、そして果物と食物の宝庫です。この実り豊かな佐賀から全国へ、また世界の恵まれない地域の方々へ支援の輪を広げていけたらと思っております。まだまだ微力ではございますが、諸先輩方の教えを受けながら、等身大のボランティア活動に参加させて頂きたいと思っております。

今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。